



広島県公立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

初の卒業生 社会へ巣立ち 課題解決のスキル 実践で養う

広島県公立大学法人叡啓大(広島市中区)がこの春、初めての卒業生を社会に送り出します。企業や地域、社会の課題を見つけ、解決策を考えるソーシャルシステムデザイン学部を柱に、2021年に開学。アクティブラーニング(能動型の学び)で、知識やスキルの修得と社会での実践を繰り返す「学びのスパイラル」により、地域から国際社会まで活躍できる実践力のある人材を育成しています。就職活動を終え、卒業を控えた4年生の松浦杏奈さんと伊藤悠祐さんに叡啓大での学びや、他の大学とは違う利点などについて聞きました。

叡啓大 オープンキャンパス

3月27日(木)

9:30~15:00(9:00会場受付開始)

午前は大学での学びや入試制度について紹介します。午後はリベラルアーツ科目、課題解決演習(PBL)、キャリア科目など、多くの体験授業を行います。また、体験・実践プログラムと留学について在学生在が体験談を語る「学生活動発表会」や、在学生との座談会や個別相談も実施します。大学生生活をイメージいただく機会としてご利用ください。申込は3月26日15時まで。

申し込みはこちらから!



産学官連携!企業・大学・学生が協力して新たな ビジネスモデルの創出を目指す「共創プロジェクト」 成果報告会

3月26日(水) 17:00~19:10

叡啓大と企業が連携して取り組んでいる「共創プロジェクト」。新規の事業やプロジェクトを始めようとしている企業担当の方に向けて、成果事例などを紹介します。

申し込みはこちらから!



ソーシャルシステムデザイン学科4年
伊藤 悠祐さん
(沼田高出身)

企業の課題解決や新しい価値創造に向けて、数カ月間、企業・教員・学生がチームで取り組む「共創プロジェクト」です。企業の課題解決や新しい価値創造に向けて、数カ月間、企業・教員・学生がチームで取り組む「共創プロジェクト」

自分が将来どんな道に進んだらいいのかがまだ見つからないけど好奇心が旺盛な人は、この大学が向いていると思います。進路に悩んでいる人こそ、体験を通してほしいです。



設置したピアノで、英国の学生と音楽会を開催する学生たち。右端が伊藤さん

一つの学問領域からではなく、多彩な分野の視点で偏りなく俯瞰して対象を見つめたり、つながりを見つけたりして社会課題の解決策を探る考え方で、それを意識しながら多彩な活動にチャレンジしてきたつもりです。

多彩なプロジェクトに挑戦

叡啓大を受験したのは、文理関係なく学べることで修得と実践を繰り返すカリキュラムに魅力を感じたからです。入学後は、一定の期間内にゴールを設定して課題解決を目指す「プロジェクト」に力を入れました。1年生の夏には、友人と校舎1階のコミュニティスペースにピアノを置くプロジェクトに取り組み始め、2年かけて実現させました。失敗も経験しながら30万円ほどの寄付金を集め、県立広島大(南区)から使われていないピアノを運び、整備して弾けるようにしました。授業では、「システム思考」に興味を持ちました。

に参加したこともいい経験でした。ツネイシホールディングス(福山市)に出向き、新規事業に携わる人材の採用や育成について社員の方たちにアイデアを提示したり、意見交換をしたりしました。卒業プロジェクトでは、プロジェクトに取り組む学生がどのようにテーマを設定したらいいのかについての方法を検討しました。プロジェクトに挑戦する学生を支援する場「プロジェクトベース」を3年生の時から定期的に開催していて、そこでの経験や集まる先輩たちの声も反映させました。

4月からは、学校法人角川ドワンゴ 学園N高等学校(本部・沖縄県)に就

留学の経験は、卒業プロジェクトにもつながりました。欧州ではビッグガン(完全菜食主義者)のトレンドが広がっています。欧米の訪日外国人が圧倒的に多い広島市の飲食店に対応できているのが気になり、調べ始めました。飲み

この大学は学生の進む方向性を広げてくれます。たくさんの人と出会えたり、多様な活動に参加できたりと取り組みの幅も広いので、自分の可能性を探りたい人にはぴったりだと思っています。



フィンランド留学での犬ぞり体験。手前左が松浦さん

もともとホテルのコンシェルジュになりたいという夢を持っていました。とはいえ、語学や観光などの分野に絞って大学を選んでもいいのか迷いもあったので、実践的な学びが豊富な叡啓大なら自分を成長させてくれると思いました。

課題解決に対するアプローチの方法を学んで、コンシェルジュよりもホテルのマネジメントに挑戦してみたくなり、若手のうちから活躍できそうな星野リゾート・マネジメント(本社・沖縄県)に就職することを決めました。同社では社員が立候補してプレゼンテーションし、認められれば宿泊施設の総支配人になれる制度があり、やりがいがあります。



ソーシャルシステムデザイン学科4年
松浦 杏奈さん
(松江南高出身)